

全国学力・学習状況調査から見る 東伊豆町の子どもたち

東伊豆町教育委員会

1 調査の概要

(1) 目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し改善を図る。
- ・本調査の結果を教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 実施日

平成 30 年 4 月 17 日（火）

(3) 実施対象

町内全ての小学校 6 年生と中学校 3 年生

(4) 調査内容

- ・教科調査（国語、算数・数学、理科）※A問題：知識を問う問題、B問題：活用を問う問題
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査結果の概要

(1) 教科の状況

全国に比べて：★★高い ★やや高い ○同程度 △やや低い △△低い

国 語	話す・聞くこと	書くこと	読むこと	言語に関すること
A問題	★★	○	★	△△
	★★	△	△△	
B問題	○	★	★★	★
	★	★	★★	★
算 数	数と計算	量と測定	図 形	数量関係
A問題	○	★★	★	○
	△	△△	★	△
数 学	数と式	図 形	関 数	資料の活用
A問題	★★	★	★	○
	★	★★	○	★
理 科	物質（物理的領域）	エネルギー（化学的領域）	生命（生物的領域）	地球（地学的領域）
小学校	★★	△	★	△
中学校	★	★	★	★★

※斜線の枠は当該項目の問題がありません。

(2) 生活や学習の状況

質問紙調査からは、全国と比較して、次のようなことがわかりました。

○よいあられ

- ・「自分にはよいところがある」と思っている子どもの割合が高い。（小学生）
- ・家で、予習・復習をしたり、自分で計画を立てて勉強したりしている子どもの割合が高い。（小学生）
- ・数学や理科など、「授業の内容がよくわかる」と感じている子どもの割合が高い。（中学生）
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことである」ととらえている。（中学生）
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と思っている子どもの割合が高い。（小中学生）

●改善すべきあられ

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子どもの割合が低い。（小中学生）
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合が低い。（小中学生）

3 これからの取り組み

(1) 学校における授業改善

調査結果の分析を今後の指導に生かします

《 国 語 》

- 語彙指導の改善・充実
 - ・語彙の量（意味を理解している語句の数を増やす・話や文章の中で使いこなせる語句を増やす）
 - ・語彙の質（語句と語句の関係、語句の構成や変化等への理解・語句の意味や使い方に対する認識）
- 目的や意図に応じた指導
 - ・何のために「話す・聞く」「書く」「読む」のかを子どもと教師が共通理解する
 - ・「こう話そう・こう聞こう」「こう書こう」「こう読もう」と子どもが自覚して学ぶ



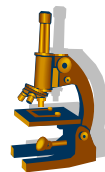
《算数・数学》

- 数学的に「考察する」「説明する」「解釈し合う」場の充実
 - ・結果を振り返って考察する
 - ・いつでも成り立つかを検討する
 - ・事象と式を関連付けて説明する
 - ・図や式から他者の思考過程を読む
 - ・複数の式について解釈し合う



《 理 科 》

- 科学的な言葉や概念の定着（小学校）
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想する（小学校）
- 結果を事実とし、それを根拠として考察を述べる（小学校）
- 自然の事物現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御した実験の計画（中学校）
- 空間概念や視点の移動（中学校）



「子どもが学ぶ視点」で授業改善を図ります

調査対象となった国語、算数・数学、理科だけでなく、全ての教科等で「教師が教える視点」から「子どもが学ぶ視点」へ、つまり、教師がどのように教えるか理解させるかの視点から、子どもたちがどのように学ぶかの視点で授業改善に取り組みます。子どもの「なぜだろう」「できそうだ」「もっとやってみたい」という学びの過程で湧き上がる思いを大切に授業を実践していきます。



(2) 地域とともにある学校づくりの推進

地域と学校の「連携・協働」をめざします

東伊豆町の小中学校では、社会科や総合的な学習の時間をはじめとする各教科等の指導において、地域や社会で起こっている出来事や問題を学習の題材として取り扱っています。また、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を設定しています。さらに、保護者や地域の皆様が、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加して、学校教育を支えています。

学校では、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えるような学習をさらに充実させていきます。地域の皆様には、「支える」の立場から「連携・協働」の視点で学校と地域が活動の目標を共有して子どもたちにかかわっていただき、保護者の皆様には、地域の行事やボランティア活動等に積極的に参加するようはたらきかけていただきたいと思います。

これらの活動やふれあいを通して、子どもたちは、東伊豆町のよさや魅力を発見するだけでなく、地域への愛着をさらに深め、これからのまちの在り方を自分事として考えるようになっていくことでしょう。子どもはこれからの未来、これからの東伊豆町をつくる私たちの宝です。学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちの力を伸ばしていきましょう。



連携・協働

